

◎樞軸側の印度新政權樹立説

ロイターがバラ撒く

ロイター・ロンドン四日發　ロンドンの消息筋に達した情報によれば日本とドイツとの間に印度問題に關する協定が成立した模様である、之はバンコックで決定された日本の最初の方針とは異なるものでシンガポールに臨時印度國民政府樹立を宣言せんとするものである。ラス・ビハリ・ボースがバンコックかシンガポールに到着したのは右の計畫に關聯してゐると報ぜられる、恐らく新印度僑備政權主席の地位は目下歐洲滞在中のチャンドラボースに提供されるものと見られる。既に日、獨、伊、グアイシー、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリア、ノルウエー其他の樞軸國は印度新政權承認を確約したと云はれ、スペインの新政權承認は目下交渉中である。

◎スバイ騒ぎに米朝野戦々競々

UPRロサンゼルス五日發　政府は米西部沿岸で獨米結社のメンバーを彼等がベルリン機密を通じてスバイ並びにサボタージを準備した明瞭な證據があるので直ちに檢舉する計畫を樹てた

之に關し米聯邦檢察補ジョン・マリーツイン・デーンは「司法省當局は右西部結社のリーダーがナチ理論を學びにドイツに渡つた」といふ確固たる證據を發見したと語つた、政府ではナチズムを支持した斷化人の市民權を剝奪し、彼等を刑法上の犯罪として起訴する意向であると言はれてゐる。尚西部沿岸の檢舉事件はカリフォルニア州知事オルソンがルーズヴェルト大統領にメキシコからアリゾナに至る太平洋沿岸線を要塞化する計畫に附加するやう提言したことに鑑み特別の重大性が與へられてゐる

米通商(直趨向)　ロウシントン六日發

本日滿政府雇員を含む三名の米市民がF・B・Iに依り明らかに日本政府の手先であるとの理由で拘禁された、右はワーカー・マツソン、ジョセフ・スミス及びアイヴイン・ウイリアムズの三名で、マツソンは嘗て汎米事務調整官の事務所には雇はれてゐた政府の雇員であるがメン隊長。エドワード・ワグナーは「右の三名は雜誌「リヴィング・エ・ジ」購買費として一九三八年日本政府から八十一萬五千ドルの支拂を認め(一字不明)以後月額二千五百ドルを補助されてゐた、その代り彼等は少くとも一ヶ月に一つは親日論文を報告する義務があつた」と語つた

◎英誌の報ずるソ聯の喪失經濟力

スモウクホルム四日發同盟に不發表に本年度攻勢開始以來獨軍の急進撃によりソ聯の經濟的損失は増大する一方であるが、ロンドン・エコー誌は本年七月末迄のソ聯の喪失經濟力を全經濟力の比に於て次のやうに測定しある。

- 領土 六・五%
- 人口 三〇・〇
- 播種面積 三六・五
- 穀類 三六・〇
- (内小麥) 三三・〇
- 鐵道 三七・〇
- 石炭 五五・〇
- 鐵礦 六〇・〇
- 銑鐵(原語不明瞭) 六〇・〇
- 機械及建設材料 三〇・〇
- 鋼 六〇・〇
- 炭 五七・〇

尙人口の損失はソ聯戦によれば約三分の一が奥地へ撤退したといふから右の數字より少いも

のと思はれる。南部ウクライナ工業地帯を全体的にみると昨年獨軍に奪はれたのは主として原料供給基地であつたが本年度は主として地方鐵鋼工業の生産中心地を喪つてゐる。更にエコー誌は北コーカサス及びトランス。コーカサスはソ聯全体に對し左の如き經濟的重要性を有してゐると述べてゐる。

- 人口 六%〇
- 播種面積 八・〇
- 牧畜 一四・〇
- 石油 八五・〇

石油八五%の内七五%はバクーで産出され北コーカサスのマイコープ、グロズヌイ油田は生産三、四百萬トンで全ソ聯石油生産の一〇%以上を産出してゐると。

37

秘

海外特殊情報 第三十號

昭。一六九。一三四
情報司第一部第二課

◎グアダルカナル日本救護軍艦退去公表

△ロイター・ワシントン七日發 米海軍省七日發表
去る八月七日米軍がソロモン群島のグアダルカナル島及ツラギ地區を占領して以來米軍は

同地區に對し軍需品及増援部隊を揚陸した結果グアダルカナル島の米軍海岸防備施設並に
飛行基地は着實に強化されてゐる。

一この間日本軍は航空部隊と潜水艦によつて反撃し來り作戦の成功までには若干の犠牲を
出したもの止むを得ない次第であつた。即ちグアダルカナル島の海岸陣地へ兵站を補給す
る必要上駆逐艦ブル・ドック並に輸送船コルボーン號を喪つたことは既に海軍省公表一一九號
中に發表せる通りである。

二日本軍は戦闘機の護衛を附した陸上機を以つて米軍陣地に對し何回もなく攻撃を加へ
て來つたが一回も米軍海岸防備施設に重大損害を加へ得たことがグアダルカナル島に米軍
を有する米空軍のグラマン・ワイルド・キヤット、アヴェンヂャーの各機は攻撃を邀へ